

平成21年10月27日

各位

上場会社名 東亜ディーケーケー株式会社  
 代表者 代表取締役社長 佐々木 輝男  
 (コード番号 6848)  
 問合せ先責任者 常務取締役 玉井 亨  
 (TEL 03-3202-0242)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	5,650	50	30	20
今回発表予想(B)	5,341	23	22	5
増減額(B-A)	△309	△27	△8	△15
増減率(%)	△5.5	△54.0	△26.7	△75.0
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	6,415	129	124	△60

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	5,350	20	60	40
今回発表予想(B)	4,987	△40	25	33
増減額(B-A)	△363	△60	△35	△7
増減率(%)	△6.8	—	△58.3	△17.5
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	5,937	76	134	△30

## 修正の理由

当第2四半期累計期間における業績は、長引く世界同時不況や円高などの影響を受け、主たる需要先である鉄鋼、石油、半導体市場の大型設備投資が大幅に減少、また市場における価格競争が激化する等、厳しい状況で推移いたしました。このような需要環境の中で、当社は中国向け環境用水質分析計の善戦、営業部員の増強による営業強化、固定費削減を含む幅広い経営合理化策を強力に推進してまいりましたが、国内需要の減少を補うことができませんでしたので、業績を下方修正することいたしました。

なお、通期の業績予想につきましては、先行き不透明感はありますが、平成21年5月15日に発表した業績予想に変更はありません。

※上記の予想は現時点で得られた情報に基づき算定したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上